

2025年8月7日

### ホンダ学園、創立50周年を記念して 「第28回ラリー・モンテカルロ・ヒストリック」に参戦 ～佐藤琢磨選手がドライバーとして参戦し学生たちと極限のラリーレースに挑む～

学校法人ホンダ学園（以下、ホンダ学園）は、2026年に創立50周年を迎えることを記念したチャレンジの第一弾として、2026年2月に欧州で開催される「第28回ラリー・モンテカルロ・ヒストリック」<sup>※1</sup>への出場を決定しました。

本チャレンジには、ホンダ学園の学生約30名が有志で参画。参戦車両である1975年式の初代CIVIC RS 2台のレストア<sup>※2</sup>から整備、部品調達、さらには欧州現地での運営支援やナビゲーター対応までを担います。また、アンバサダー兼ドライバーとしてレーシングドライバーの佐藤琢磨選手が参加し、学生たちと共に国際ラリーレースに挑戦します。



ホンダ学園は1976年、Honda創業者であり、初代校長を務めた本田宗一郎の「技術だけでなく、世界に歓迎される人間を作りたい」という志のもとに創設され、“技術力と人間力”を兼ね備えた人材の育成を目指してきました。現在はホンダテクニカルカレッジ関東・関西の2拠点体制のもと、50年にわたり実践を重視した教育と「挑戦する姿勢」を軸に人づくりに取り組んでいます。

本チャレンジは、「技術の伝承」と「挑戦文化の醸成」を目的とする「50周年記念チャレンジ企画」の第一弾です。技術革新が加速する現代においても、「変わるものと変えてはならないものを見極め、本質的な価値を次世代へ継承していく」という企画のコンセプトの元、ホンダ学園の理念を体現する取り組みとなります。

また、日本全国を巡る「Cubチャレンジ」など、第二弾・第三弾となる記念企画の展開を予定しています。

※1 「Automobile Club de Monaco (ACM)」主催

※2 部品の修復や交換を通じて、クラシックカーを本来の姿・性能に蘇らせること

## ■学校法人ホンダ学園 常務理事 中嶋歩のコメント

「ホンダ学園が創立 50 周年を迎えるにあたり、学生たちが佐藤琢磨選手と共に『ラリー・モンテカルロ・ヒストリック』へ挑戦できることを大変うれしく思います。日々、学生たちが取り組んでいるヒストリックカーのレストアは、マニュアルも部品もない“答えのない実習”であり、まさに逆境への挑戦です。仲間と共に課題を乗り越え、技術者として、そして人として大きく成長してくれることを願っています」

## ■モンテカルロ・ヒストリック・チャレンジ アンバサダー兼ドライバー 佐藤琢磨選手のコメント

「ホンダ学園の皆さんとはこれまで多くの交流を重ねてきましたが、今回は 50 周年を記念したプロジェクトを通じて、共に世界に挑戦できることを大変光栄に思います。学生の皆さんのが“挑戦のスピリット”と“あきらめない姿勢”を存分に発揮し、仲間と共に成長していく姿を見るのが、今からとても楽しみです。私自身、現役で INDY500 に参戦を続ける一方で、若手ドライバーの育成にも力を入れていますが、今回のプロジェクトでは、世界で活躍できるエンジニアの育成にもつながるのではないかと、大いに期待しています。この大きな挑戦を、学生の皆さんと共に楽しみながら、全力で取り組んでいきたいと思います」

## ■第 28 回ラリー・モンテカルロ・ヒストリック開催概要（予定）

主 催 : Automobile Club de Monaco (ACM)

開催日時 : 2026 年 2 月 1 日 (日) ~ 2 月 7 日 (土) ※予定

開催会場 : モナコを起点に、南仏アルプス山岳地帯を中心とする複数都市 (フランス、イタリアなど)

参加車両条件 :

- 1911~1986 年 1 月までの「ラリー・モンテカルロ」に参加実績のある車種  
または同等仕様のヒストリックカー (Honda 車では初代 CIVIC が唯一該当)
- 規定のオリジナリティーと整備状態を保持していること

レース形式 : レギュラリティラリー形式

- 約 2,000~3,000km を決められた平均速度で正確に走行
- スピードではなく精度と対応力を競う

## ■学校法人ホンダ学園概要

創立年 : 1976 年

創設者 : 本田宗一郎 (本田技研工業株式会社 創業者)

理事長 : 清水光太郎

教育理念 : チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者を育成する

設置校 : ホンダ テクニカル カレッジ 関東 (埼玉県ふじみ野市)

ホンダ テクニカル カレッジ 関西 (大阪府大阪狭山市)

主な学科 : サービスエンジニア学科 / 一級自動車整備学科 / 研究開発学科 (関東)

一級自動車研究開発学科 / 自動車整備科 / 自動車整備留学生科 (関西)

特徴 : Honda グループ直系の教育機関で、鈴鹿 8 耐や全日本ラリーへの参加、

ヒストリックカーのレストアなどの課外活動も充実

主な進路 : Honda 販売会社 (Honda Cars 各社)、整備工場、サプライヤー、

Honda やグループ企業 (推薦枠あり)

公式 HP : <https://www.hondacollege.ac.jp/>

## ■佐藤琢磨選手のレースキャリア

- 1997年 鈴鹿レーシングスクール フォーミュラ (SRS-F) を卒業
- 2001年 英国 F3 選手権チャンピオン  
マスターズ F3 優勝  
マカオ GP 優勝
- 2002年 ジョーダン・ホンダより F1 デビュー
- 2003年 B・A・R ホンダに移籍
- 2004年 F1 第9戦アメリカ GP で3位表彰台
- 2006年 スーパーアグリ・ホンダに移籍
- 2010年 KV レーシングよりインディカー・シリーズに参戦  
第94回インディアナポリス 500（インディ 500）に初挑戦、20位完走
- 2011年 インディカー・シリーズ第8戦で日本人初のポールポジション獲得
- 2012年 レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍  
第4戦サンパウロで自身初の3位表彰台  
第96回インディ 500 にて終盤まで優勝争いするも、最終ラップでスピン
- 2013年 AJ フォイト・レーシングに移籍  
第3戦ロングビーチでインディカー・シリーズ日本人初優勝
- 2017年 アンドレッティ・オートスポーツに移籍  
第101回インディ 500 で日本人初優勝  
この勝利により内閣総理大臣顕彰受賞
- 2018年 レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍
- 2019年 第103回インディ 500 でトップに約0.3秒及ばず、3位
- 2020年 第104回インディ 500 予選で日本人過去最高位となる3位  
決勝レースで自身2度目となる優勝
- 2021年 第105回インディ 500 で連覇を狙うも、14位
- 2022年 デイル・コイン・レーシング・ウィズ・リック・ウェア・レーシングに移籍  
第106回インディ 500 25位
- 2023年 チップ・ガナッシ・レーシングに移籍 第107回インディ 500 は7位
- 2024年 株式会社ホンダ・レーシングの「エグゼクティブ・アドバイザー」に就任  
レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍 第108回  
インディ 500 決勝では10番グリッドからスタートし、14位
- 2025年 第109回 インディ 500 予選で日本人過去最高位となる2位獲得  
決勝では2番グリッドからスタートするも、途中トラブルなどで9位